Panasonic®

取扱説明書
施工説明書

開き戸ソフトクローズ

取扱編

保証書付き

■このたびは、開き戸ソフトクローズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■ご使用前に「**安全上のご注意」を必ずお読みください。**
■保証書は「お引き渡し日、販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
■内装ドア本体の取扱説明書と一緒にご覧ください。
※この商品は一般住宅およびそれに準じる居住施設の屋内専用です。他の用途へのご使用はおやめください。
屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容です。	●	実行しなければならない内容です。

⚠注意

禁止

●**ドアを急激に開閉しない また、強い衝撃をあたえない**
指のはさみこみでけがをするおそれがあります。

●**部品の各調整に、電動ドライバーを使用しない**
部品が損傷して落下したり、正常に作動しないおそれがあります。

使用上のご注意

●**表面が汚れたときは、家庭用中性洗剤を薄めた水にひたした柔らかい布を、よく絞ってからふいてください。**
シンナー、ベンジンなどでふいたり、殺虫剤をかけたりすると、変色や光沢が損なわれたり、クラックの原因となります。
●**部品に潤滑油やグリスを注さないでください。**
部品の割れや変形、変色を生じるおそれがあります。
●**正常に作動しない場合、下の調整方法を参照し、調整してください。**
施工状態などによって、調整方法通りに調整を行っても、正常に作動しない場合があります。

●本製品はパナソニック(株)製内装ドアの専用部材です。玄関ドアや他社製のドアには取り付けできません。
●本製品は消耗部品になります。
●本製品のソフトクローズ効果は、通常ご使用になられる際の、扉を閉める時に発生する衝突音を軽減を目的とするもので、通常より速い速度で閉めた場合にはソフトクローズ効果を感じることはできません。
●強い風が吹くような場所(高層住宅など)で、扉が急激に閉まってしまう場所では本製品のソフトクローズ効果を得ることはできません。本製品は使用しないで当社指定のドアクローザーをお買い求めください。(扉を急激に閉めた場合は、扉が枠に当たって大きな音がする場合があります。)
●本製品はドアクローザーと併用はできません。
●一定以上の速度で扉を閉めると、ソフトクローズ機構の作動時に、丁番側の扉上部や扉全体が手前にはね返るような反発した動きがですが、これはソフトクローズ効果によるものであり、異常ではありません。
●枠の手前で扉が止まるような緩やかな速度で閉めた場合はソフトクローズ機構は作動しない場合があります。
●扉を閉める際、ソフトクローズ機構の作動時に「カチャッ」と音が発生します。
●手で扉を開ける際、ソフトクローズ機構が解除される時に多少の音や抵抗が発生しますが、異常ではありません。
●使用環境、温度によってソフトクローズ効果による扉の閉じる速度は変化します。
●扉のデザイン、重量、サイズによってソフトクローズ効果による扉の閉じる速度は異なります。
●窓や換気扇、ドアの開閉によって生じる屋内の気圧の変化によって正常に作動しない場合があります。
●扉の一時的な反りにより、ソフトクローズが閉まりきらなくなることがありますが、異常ではありません。

調整方法

イラストは全てR勝手用で記載しております。(L勝手は左右対称になります)

	現象	原因	対応方法	
1	扉を開くと、通常使用より大きな抵抗があり「ガチ」と大きな音がして、待機状態にならない (キャッチャー)	–	①扉を閉めた状態で、ソフトクローズ本体の差込穴へ(－)ドライバーを差し込み、真上に押す。「カチ」と音がなったら扉を開き待機状態になるか確認する。	裏面❸⑩参照
		丁番の固定ねじが緩んでいる	②丁番カバーを外して丁番の固定ねじを締めなおし、扉の建て付けを調整してください。 ※詳しくは内装ドア施工説明書の「建て付け調整」をご覧ください。	裏面❸⑧～⑩参照
		ソフトクローズ本体に対して、ストライカーの取付位置が上下方向でずれている	③丁番で扉を上下方向に調整する ※調整方法は内装ドア施工説明書の「建て付け調整」をご覧ください。 上記①～③を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。	
2	ストライカーがソフトクローズ本体入口で上下方向で当たって入らない	ソフトクローズ本体に対して、ストライカーの取付位置が上下方向でずれている	●丁番で扉を上下方向に調整する ※調整方法は内装ドア施工説明書の「建て付け調整」をご覧ください。	
		ソフトクローズのカバーが変形している	お買い上げの販売店または工事店へご連絡ください。	
3	ソフトクローズは作動するが、扉が閉まりきらない (枠／扉)	扉と枠、扉と戸当たりが干渉している。または、戸先側のすき間が少ない。(3 mm未満) (枠／扉／すき間／戸当たり)	●丁番の左右調整で干渉を解消する ●戸先側のすき間を3 mm以上確保する ※調整方法は内装ドア施工説明書の「建て付け調整」をご覧ください。	
		扉の位置に対し、ラッチ受けが後方にあり、ラッチがかからない (ラッチ受け／枠／扉)	●ラッチ受けを手前へ調整する ※調整方法は内装ドア施工説明書の「建て付け調整」をご覧ください。(ラッチ受け)	

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などのご相談は

■まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。
●お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名
電話
お引渡し日　　年　　月　　日

■保証書(下記)
お引き渡し日・販売店名などの記入を確かめ、お買い上げの販売店からお受け取り、保管してください。

保証期間：お引き渡し日から本体2年間

■補修用性能部品の保有期間 7年
当社は、本製品の機能を維持するために必要な部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

修理を依頼されるとき

■まず、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■ご連絡いただきたい内容
①品名
②品番
③お引き渡し日
④異常の状況 (できるだけ具体的に)

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。
●保証期間を過ぎているときは、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。
●修理料金は次の内容で構成されています。
【技術料】診断・修理・調整・点検などの費用です。
【部品代】修理に使用した部品および補助材料代です。
【出張料】お客様のご依頼により技術者を派遣する費用です。

商品の情報はホームページでご確認ください。 [パナソニック] [検索] http://panasonic.co.jp/

■転居などでお困りの場合は、以下のお客様相談窓口にご相談ください。
ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

消耗品・交換部品・後付パーツのご用命は

ハイ・パーツショップサイト [ハイ・パーツショップ] [検索] http://www.sumu2.com/shop/parts/

ハイ・パーツショップ (一般のお客様用)
ナビダイヤル 0570-081-802
※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間】月～金　/9:00～19:00
土・日・祝日/9:00～17:00
●携帯電話・PHS・IP/ひかり電話などのご利用は
大 阪 06-6906-1224　東 京 03-5392-7189 (転)

修理のご用命は

パナソニック エコソリューションズ
修理サービスサイト http://sumai.panasonic.jp/support/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック エコソリューションズ
修理ご相談窓口
ナビダイヤル 0570-081-365
※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間】365日/9:00～20:00
●携帯電話・PHS・IP/ひかり電話などのご利用は
大 阪 06-6906-1090
札 幌 011-261-6401 (転)　名古屋 052-551-7900 (転)
東 京 03-5392-7190 (転)　福 岡 092-622-0531 (転)

商品のお問い合わせは

パナソニック **総合お客様サポートサイト** http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック **お客様ご相談センター**
フリーダイヤル 0120-878-365
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
【受付時間】365日/9:00～20:00
●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6907-1187
●FAX ……… フリーダイヤル 0120-878-236

音声ガイダンスを短くするには	案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「660#」を押してください。(番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。)

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。　※(転)印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は当社負担です。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて	パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社　内装システムビジネスユニット
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

Panasonic

開き戸ソフトクローズ保証書

出張修理

※お客様	お名前　　　様
	ご住所
	電話番号
※販売店	取扱販売店・住所・電話番号

※お引き渡し日	年　　月　　日
シリーズ品番	
保証期間	(お引き渡し日から) 本体2年間

ご販売店様へ　上記※印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

本書はお引き渡し日から本書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お客様ご相談窓口にご連絡ください。
(ハ) この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の故意・過失または不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ) 消耗部品の取替や修理
(ハ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
(ニ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、などによる故障および損害
(ホ) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
(ヘ) 仕上げのきずなどで、引渡し時に申し出がなかったもの
(ト) 瑕疵によらない自然の磨耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由による場合
(チ) 維持管理の不備による汚れ、さび、などの不具合
(リ) 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する損傷や故障
(ヌ) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象、または、これが原因で生じた事故による場合
(ル) 保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの
(ヲ) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
(ワ) 用途外に使用された場合の故障および損傷
(カ) 納入後、1年以上経過した場合の虫害
(ヨ) 犬・猫・鳥・ねずみなどの小動物や虫などの行為に起因する不具合、故障および損傷
(タ) 本書のご提示がない場合
(レ) 保証書にお引渡し年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合
(領収書などで上記内容がわかる場合はその限りではありません)
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
6. お客様ご相談窓口は上記をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

パナソニック株式会社　内装システムビジネスユニット
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地　TEL(代表)06-6908-1131

施工編

※この商品は一般住宅およびそれに準じる居住施設の屋内専用です。他の用途へのご使用はおやめください。屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。
■施工説明書をよく読みのうえ、正しく安全に施工してください。**特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。**
■施工後、この施工説明書・取扱説明書を必ずお客様にお渡しいただき、使い方を説明してください。

安全上のご注意

⚠注意

禁止	●**木くず・ほこりなどの付着を避けるため、ソフトクローズ本体を梱包から出した状態で放置しない** 作動不良となり、閉じ込めの原因となります。	禁止	●**ねじを固定する場合は、電動ドライバーなどで締めすぎない、ねじの頭（スリワリ⊕）をつぶさない** ねじの空回りで、固定用ねじがきかないと、本体・レールなどが落下してけがの原因となります。
	●**落下や過度の荷重を加えて変形、破損させない** 作動不良となり、閉じ込めの原因となります。	必ず守る	●**木くず・ほこりなどの付着を避けるため、枠にソフトクローズ本体を取り付け後、扉の納入まで施工をいったん中断される場合は、カバーの取り付けを必ず行う** 作動不良となり、閉じ込めの原因になります。
	●**商品にシンナーやアルコール・ベンジン、CRCなどを塗布しない** 色ムラや劣化促進、または作動不良となり、閉じ込めの原因となります。		●**必ず付属の金具・ねじにて施工する** 商品を確実に固定できず、破損や落下、または作動不良となり、閉じ込めの原因となります。
	●**ねじで固定するまではソフトクローズ本体から手を離さない** 落下して、けがをするおそれがあります。		

施工上のご注意

●本製品は、パナソニック（株）製内装ドアの専用部材です。玄関ドアや他社製のドアには取り付けできません。

●強い風が吹くような場所（高層住宅など）で、扉が急速に閉まってしまう場所では本製品のソフトクローズ効果を得ることはできません。本製品は使用しないで、当社指定のドアクローザーをお買い求めください。

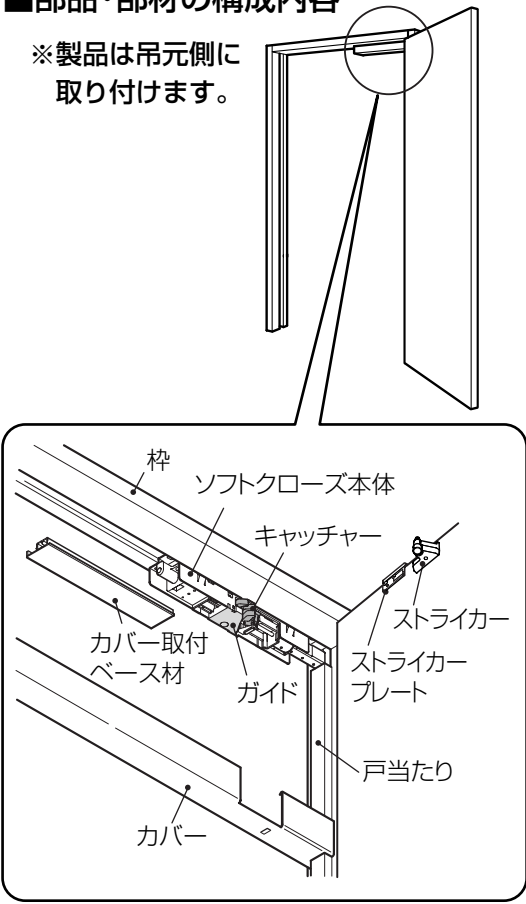
●ソフトクローズのカバーは戸当たりに対してよこ勝ちになります。

●本製品は、ドアクローザーと併用することはできません。

部品・部材の確認〔寸法単位:mm〕

■部品・部材の構成内容

※製品は吊元側に取り付けます。

■各梱包内容（品番は交換用の部品品番です。）

部品・部材名	ソフトクローズ本体（位置決め治具付属）	ソフトクローズ本体取付ねじ	位置決め治具固定ねじ	■その他
姿図	調整丁番用（切り欠きなし） フラット・隠し丁番用（切り欠きあり）	なベタッピング φ4×16	なベタッピング φ4×12	●ストライカープレート施工治具 ●カバー ●カバー取付ベース材
入数	1	4	2	各1

ストライカー梱包内容　MJSF01NR/L				
部品名	ストライカー	ストライカーピン	ストライカープレート	ストライカー取付ねじ	ストライカー本固定ねじ
姿図				なベタッピング φ3.5×16(シルバー色)	なベタッピング φ3×12(黒色)
入数	1	1	1	2	1

『枠』に付属	
部品名	変性酢ビ系接着剤
入数	1

施工手順説明　本説明書のイラストは全てR勝手用で記載しております。（L勝手は左右対称になります）〔寸法単位:mm〕

ソフトクローズ本体は吊元側に取り付けます。

扉の開く側に立って、施工を始めてください。

❶ 準備

① ソフトクローズ本体取付部の天枠を、2か所追加で固定する。（固定ねじは現場手配）

※天枠と躯体にすき間がある場合は、合板など（現場手配）のスペーサーをいれてください。

② 天枠用戸当たりを戸先側に仮付けし、扉を吊り込む。

③ 丁番による建て付け調整を完了する。

※タッピンねじ、木ねじの長さは、50mm以上を使用してください。

天枠用戸当たり
扉

注意
ソフトクローズ取り付け前に必ず戸当たりを取り付けてください。
戸当たりのない状態で扉を閉めると、ソフトクローズが破損します。

注意 必ず先に扉を吊り込んで、丁番による建て付け調整を完了させてください。
ストライカーの位置決め後に丁番の調整をすると、ソフトクローズ機構が正しく作動しないおそれがあります。

※丁番の固定ねじ、調整ねじに緩みがないか、ご確認ください。
ねじの緩みにより、ソフトクローズ機構が正しく作動しないおそれがあります。

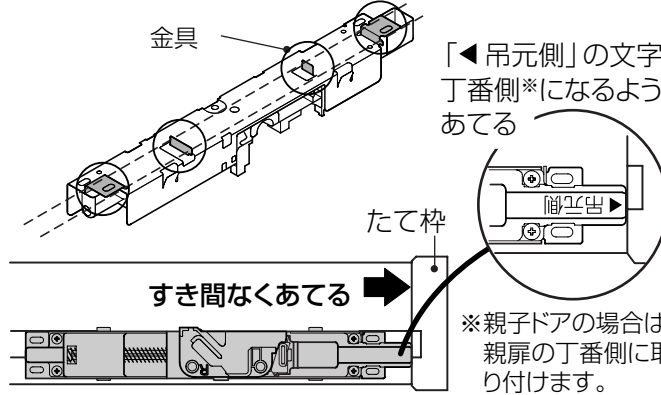
注意 **必ずソフトクローズ本体取付部の天枠と躯体を2か所固定してください。**
指定の取り付けピッチを守らないと、ソフトクローズ本体とねじ頭が干渉するおそれがあります。

注意 **タッピンねじ、木ねじの長さは、50mm以上を使用してください。**
落下して、けがをするおそれがあります。

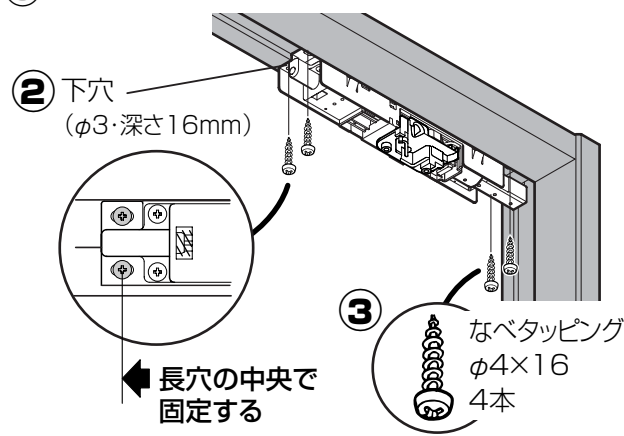
❷ ソフトクローズ本体の取り付け

① ソフトクローズ本体裏面の金具を、天枠の溝に差し込み、たて枠にすき間なくあてる。

※親子ドアの場合は、親扉の丁番側に取り付けます。

⚠注意

禁止	●ねじで固定するまではソフトクローズ本体から手を離さない 落下して、けがをするおそれがあります。

② 下穴を4か所開ける。

③ 付属の取付ねじでソフトクローズ本体を固定する。

扉の納入までいったん枠の施工を完了される場合
「❹ カバーの取り付け」をご参照の上、カバーの取り付けを完了させてください。
その際、ストライカーを紛失しないように保管してください。

❸ ストライカーの取り付け

① 付属のストライカープレート施工治具を使い、扉に下穴（2か所）を開ける。

角にぴったり当てる

※フラット丁番の場合は治具を切り取ってお使いください。

② ストライカープレートを付属のねじで取り付ける。

注意 ストライカープレートが傾かないようにご注意ください。

③ ストライカープレートにストライカー本体を取り付ける。（この時点では固定されません）

注意 ストライカーを奥まで差し込んでください。

④ 扉を**閉める**。

注意 位置決め治具がついていることを確認してください。

位置決め治具

※扉を閉めると前後、左右位置が自動的に決まります。

⑤ ストライカーを仮固定する。
扉を**閉じたまま**マイナスドライバーで軽く回して仮固定する。

約半回転で、ストライカー本体がロックされます

注意 必ず手回しドライバーを使用してください。
締めすぎると破損の原因になります。

⑥ 扉を**開き**、位置決め治具を外す。

注意 位置決め治具は捨てないでください。
※保管方法は ❹③ をご参照ください。

⑦ ストライカー本体をねじで本固定する。

なベタッピング
φ3×12（黒色）
1本

注意 扉の建て付け完了後に本固定してください。

注意 必ず手回しドライバーを使用してください。
締めすぎると破損の原因になります。

⑧ 再び扉を**閉じ**、ストライカーピンを挿入する。

ストライカーピン
切り欠きの位置を合わせて挿入する

注意 必ず扉を閉めてからストライカーピンを挿入してください。
扉を開けたまま挿入すると高さ調整ができず、破損の原因になります。

⑨ マイナスドライバーで止まるまで回して固定する。

注意 必ず手回しドライバーを使用してください。
電動ドライバーを使用すると、破損の原因になります。

注意 ドライバーは軽く押しあててください。
強く押すとストライカーが変形し、正しく作動しません。

⑩ 扉を**閉めた**状態でマイナスドライバーでボタンを押し込む。ゆっくり扉を開いてキャッチャーが待機状態になっているか確認する。

❹ カバーと戸当たりの取り付け

① 「カバー取付ベース材」をカットする。

ソフトクローズ本体とのすき間を10〜120 mmあける

② 「カバー取付ベース材」を **変性酢ビ系接着剤**（『枠』に付属）で戸当たり溝に固定する。

市販の酢ビ系接着剤では接着できませんので、必ず枠に付属の接着剤をご使用ください。
※枠に付属されている天枠用戸当たりは使用しません。

③ 位置決め治具をカバー取付ベース材に付属のねじで固定し、保管する。

注意 再度調整する際に使用しますので、位置決め治具は捨てずに保管してください。

④ ソフトクローズのカバーを枠内寸法に合わせてカットする。

挿入穴のない側をカットする

注意 カット寸法を守らないと、カバーが変形する原因になります。

⑤ たての戸当たりに対してよこ勝ちになるようにカバーを取り付ける。

カバー取付ベース材
カバー

注意 カバーは接着剤で固定しないでください。

⑥ たて枠の戸当たりをカットする。
戸先側：カバー下面に合わせる　吊元側：戸先側+5 mm

⑦ 付属の接着剤でたて枠の戸当たりを固定する。

納まり ※ソフトクローズ機構なしの場合は、戸当たりは **たて勝ち**で取り付けます。

ストライカー取り付け後に丁番調整してしまった場合

確認 ソフトクローズが機能しないことがあります。その場合は、下記参照の上、ストライカーを正しい位置に調整してください。

「❹カバーの取り付け」の取り付け手順と逆にカバーを外す。

① カバーをツメから外す。

② 吊元側の戸当たりに沿ってカバーを下げる。
③ 戸先側の戸当たりをよけて外す。

④ ❸③〜⑩ を参照の上、ストライカーの調整を行う。

注意 ❸⑦のストライカー本固定ねじ穴は必ず埋木をして補修してください。